



— エコ の わ — e c o の 環



！イベント情報！

3月

○ 7(土) 9:00～
○ 親子エコ教室
○ 「まちなか探検
○ &グリーン作戦
○ &組子体験」
○ リサイクルセンター
○ 研修室
○ 65-6677 ぶうめらん

○ 8(日) 10:00～
○ フリーマーケット
○ リサイクルセンター
○ 駐車場
○ 65-6677 ぶうめらん

○ 12(木) 11:00～
○ マイバッグキャンペーン
○ カセキ、ヤオハン貝島店
○ 65-1064
○ 環境活動推進会議

4月

○ 12(日) 10:00～
○ フリーマーケット
○ リサイクルセンター
○ 駐車場
○ 65-6677 ぶうめらん

5月

○ 9(土) 10:00～
○ 親子エコ教室
○ 「こころを込めて、
○ 寄せ植えを！
○ お父さん・お母さん
○ ありがとう」
○ リサイクルセンター
○ 研修室
○ 65-6677 ぶうめらん

○ 10(日) 10:00～
○ フリーマーケット
○ リサイクルセンター
○ 駐車場
○ 65-6677 ぶうめらん

鹿沼市内で見られる早春の花

寒さも緩み、春の訪れが待ち遠しい季節です。ふと足元に目をとめると、小さな花や植物の芽が、春はもうすぐと教えてくれます。



セツブンソウ

早春、節分の頃に開花するのでこの名がついた。鹿沼で開花するのは2月下旬の頃。



フキノトウ

山菜でよく知られるフキの花、葉とは別に早春に花だけを咲かせる。花は地面から立ち上がったように見るとところから、蔭の臺(塔)と呼ばれるのかもしれない。



アズマイチゲ

春分の頃には、林の周辺の陽当たりのよい土手に咲いている、時には群落で見事な場所もある。



カタクリ

よく知られている早春の花の代表。アズマイチゲと同じような環境で、いっしょに咲いていることも多い。

写真・解説：鹿沼自然観察会



発行・編集：鹿沼市環境部環境課、鹿沼市環境活動推進会議
〒322-0045 鹿沼市上殿町695-7(環境クリーンセンター)
☎ 0289(64)3194 / FAX 0289(65)5766 / Eメール kankyo@city.kanuma.lg.jp
本紙に関するご意見、ご感想をお寄せください。

**みんなで
イベントに
参加しましょう。**

この情報紙は全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて発行しています。



ごみを減らそう！
ごみ焼却処理施設の改修 その3

清掃課 ☎ (64) 3304

3Rで

4月から始まる改修工事に伴い、クリーンセンターで焼却できなくなる燃やすごみの外部委託処理に、通常の処理費に加えて2億円以上の経費がかかります。その経費を少しでも減らすため、3Rを心掛けたごみ減量化に市民一丸となって取り組みましょう。

R₁

ごみを減らす(Reduce:リデュース)

鹿沼市では市民一人あたり1日800gの燃やすごみを出しています。これを1日100gずつ減らせば、年間に1億円以上の経費を減らすことができます。(100gはMサイズの卵1個半程度の量です)

○生ごみの水をよく切って出す

・燃やすごみの約半分は生ごみで、さらに生ごみの約70%は水分です。水分を完全に取り除くことは不可能ですが、よく水を切ることを心掛けましょう。

○コンポストなどを活用し、生ごみを堆肥化して利用する

○食事を作る際には適量を調理する
・食べ残しが出ないようにしましょう。

R₂

再利用する(Reuse:リユース)

安価な製品の大量生産により、生活はますます便利になってきています。そんな中でちょっとした手間をかけることによりごみを減らすことができます。

○壊れたものは修理して長期間使うようにする

・簡単な修理をすればまだまだ使えるというものもたくさんあるはず。中にはセロハンテープを貼る程度で使えるものもあるのでは？

○必要な人にゆずる

・使えるものは知人にゆずることや、フリーマーケット、リサイクルショップの活用を検討してみましょう。

○使い捨て商品の使用を減らす

・詰め替え商品や繰り返し使えるものを選ぶことを心掛けましょう。



R₃

再生利用する(Recycle:リサイクル)

「捨てればごみ、分ければ資源」と言われるように、紙類、ペットボトル、プラスチック製容器包装などは、市が資源物として売却することができます。

○紙類を分別する

・新聞・段ボール・雑誌・紙パックのほか、ティッシュペーパーの箱やトイレットペーパーの芯、紙製の包装紙などの雑古紙も、分別すれば立派な資源です。

○ペットボトルを分別する

・既に取り組んでいる方も多く、鹿沼市のペットボトルは高品質と言われています。

○容器や包装紙のうちプラスチック製のものを分別する

・お菓子の袋、お弁当やカップ麺の容器、洗剤のボトルなどはプラスチック製のものがたくさんあります。汚れを落として資源にしましょう。



エコライフのすすめ

5 地球・人・財布にやさしい
エコドライブを始めよう！

自動車の排気ガスには、地球温暖化の原因となる二酸化炭素が含まれています。

あなたのちよつとした心がけが、「温暖化防止」「交通事故の減少」「ガソリン代の節約」につながります。

○ふんわりアクセル『eスタート』

・最初の5秒で時速20kmが目安です

○加減速の少ない運転

・車間距離に余裕を持った安全な定速走行を

○早めのアクセルオフ

・エンジンブレーキを積極的に使おう

○アイドリンググストopp

・現在の乗用車では暖機運転は不要です

○タイヤの空気圧をこまめにチェック

・確実な点検・整備を

燃費を把握し、エコドライブの効果を実感しよう！

目標
燃費20%
UP!



環境活動推進会議委員募集!

環境課 ☎ (65) 1064

マイバッグキャンペーン、エコライフフェアや環境講演会の企画・運営、「ecoの環」の記事編集などの鹿沼市版もつたいない運動を推進する委員を募集します。

応募資格 20歳以上の市内在住者で、年6回程度の会議に出席できる人。

任期 平成27～28年度の2年間

募集人員 2名程度

応募方法 3月25日(水)までに申込書を環境課まで提出してください。



ふる里あわの秋まつりで「もったいない運動」のPR

「きれいなつと鹿沼」登録団体募集 いつでも登録OK!

環境課 ☎ (65) 1064

道路や公園等の公共施設の清掃・美化活動を行う、ボランティア団体を募集しています。

対象 5人以上で、年間6回以上の活動を行う市民や事業者などの団体
活動場所 道路、公園、コミュニティセンターなどの公共施設

活動内容 清掃活動、草花や樹木の管理、市への不法投棄の通報など

支援内容 清掃用具の支給・貸与、ボランティア保険の加入など

登録方法 申請書を環境課に提出してください。

小水力発電実証実験

12月7日に、小水力発電を市民の手で作成地域コミュニティや経済を活性化にして元気と夢を創ることを目的に活動している「鹿沼自然エネルギー推進会」の小水力発電の実証実験を取材してきました。

前回の黒川での公開実験に続き、

今回は下沢引田農村公園脇の農業用水路に、自転車のハブダイナモを発電機として組み込んだ水車を設置して実験を行いました。

はじめに会長から発電の仕組みの話があり、その後実際に発電した電力でLEDの点灯やラジオで音楽の再生、夜間の防犯灯にも利用できることが検証されました。

小さな電力でも多くの人が参加した化石燃料から自然のエネルギーを利用した発電に替えていくことで地域の活性化や地球温暖化の防止の一助になると確信しました。

活動に興味のある方は

☎ (64) 2441 (会長・鈴木さん) まで



環境活動者紹介コーナー

市内で環境の保全や美化などに取り組み団体・企業などを、市民編集員が取材し紹介するコーナーです。

「もったいない」の実践を呼びかける

エコネットかぬま

平成12年にエコライフを全県的に確立することを目的とした「エコライフネットワークちぎ」が設立され、鹿沼支部として市内を中心に独自の活動を始めました。

活動の方針は、地球温暖化防止に向けて普及・啓発活動をし、環境にやさしいライフスタイルを推進すること。賢い消費者になるための情報の交換や「もったいない運動」を展開し、広く各団体との協働とネットワーク化を図っています。

消費生活展などで、温暖化ストンプと低炭素化社会の実現、循環型社会に向けて3R運動（リデュース・リユース・リサイクル）を進めるため、「CO₂ CO₂（コッコツ）減らして、地球を助けんべ!」や「なぜに減らないレジ袋!」等と問題提起をしてきました。



平成26年7月1日には、当番市として「エコライフ地域交流会 in かぬま」を開催し、施設見学や事例発表会、意見の交換などで大変盛り上がりしました。

「会員のみなさんの努力が実って、今年度、消費生活功労者知事表彰を受けたことは、大変光栄なこと

で今後の張り合いとなる」と、代表の竹之内さんが活動の継続に向けた思いを語ってくれました。

かぬまのまちをきれいに

きれいなまちづくり推進員協議会

きれいなまちづくり推進員は、自治会ごとに200世帯に1人の割合で市からの委嘱を受け、地域の清掃活動や美化活動の中心的な役割を担っています。現在は254人が環境美化の推進、清掃活動、ごみ減量・リサイクル実践活動及びごみ分別の推進、不法投棄等法令違反の監視活動及び通報などの活動を行っています。

これらの活動を円滑に推進することを目的として、きれいなまちづくり推進員協議会が設置されています。

今年度は協議会の活動として、鹿沼ぶつつけ秋祭り翌日の10月13日の早朝、会場周辺の一斉清掃活動を行い、70kgのごみを回収しました。

「今後もかぬまのまちをきれいにしていくため、活動を継続していきたい」と副会長の廣田さんが語ってくれました。

きれいなまちづくりのためには、推進員だけでなく、私たち一人一人の心がけが必要だと感じました。



推進員一斉清掃活動の様子



一時間で集めたごみの量

編集後記

環境情報紙も第3号となりました。学んだことや見聞した事などから、少しでも環境について考えていただけたでしょうか。さあ次は行動に移しましょう。そして結果を確認し見直したならまた行動を！一人ひとりの積極的な取り組みで、住みよい鹿沼をつくりましょう。

【環境活動推進会議編集員
佐藤、鈴木、松島、若林】